



浜松志耀ロータリークラブ 第23回例会

開催日時: 2024年1月11(木)午前11:00 ~ 12:30

開催場所: 万斛庄屋敷 鈴松庵

■ 会長挨拶 小澤会長

新年明けましておめでとうございます。令和六年の新春を迎え、皆様には清々しく新年をお迎えのことと存じます。

まずはじめに、新年元旦に発生した能登半島地震によりお亡くなりになられた方々に謹んでお悔やみ申し上げますとともに被災した皆様には心からお見舞い申し上げます。また、被災者の救済と被災地の復興支援のために尽力されている方々に深く敬意を表します。

さて、この浜松志耀ロータリークラブは皆様と昨年1月28日素晴らしいご縁をいただき、認証状伝達式を開催してから早くも一年が経とうとしています。志耀ロータリークラブ創立会長としてこれからの6月までの下半期は今年7月から新たにスタートする小川義嗣会長エレクト年度がより地域に根差した活動をするための助走期間としていきたいと存じます。そして、会員である皆様はこの志耀ロータリークラブに在籍して約一年が経とうとしています。この一年間で様々な出会いや気づきがあったかと思えます。

『人生は邂逅と謝念である』といいます。これは出会いを喜び感謝するという意味です。邂逅とは人生で一回あるかないかの出会いのことですが、私達は日常生活の中に日本人として『おかげさま、ありがとう』という感謝の心が命のつながりとして代々綿々と継承されてきているのだと感じます。

「人の人生にはありがたい出会いがあり、貴重な出会いによって幸福がもたらされたり、人生や自身が大きく変わっていくことがある。もしこのときこの人に会わなかったらならば、自分はどうなっていたであろうかと思うことがある。そこに生ずるのは謝念である。」これは昭和期の文芸評論家亀井勝一郎の言葉です。謝念(感謝の心)は良き出会い、その瞬間を大切に人間関係の縁を噛みしめるところから出てきます。その『謝念』の気持ちは、まず相手を理解し相手の希望・思いに寄り添うことから生まれてきます。この『謝念』の気持ちがあれば、業種・業態に関わりなく売り上げや利益は確実に増えることができると考えます。

ロータリークラブ、そしてロータリー活動はまさに 『邂逅と謝念』、出会いを喜び感謝の心を育てる道場だと感じます。どうぞロータリー活動を通じてロータリーライフを共に楽しみこれからの人生をより充実した日々にしていきたいと考えます。

結びにあたり、これまで多くの皆様のご縁・ご恩に感謝申し上げますと共に本日ご参集の皆様のご健勝、ご多幸をご祈念申し上げ、年頭に当たりましてのご挨拶といたします。

本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。ありがとうございました。



■ 黙祷 ～能登半島地震により犠牲となられた方々に対して～

■ 幹事報告 田淵幹事

1. 2月11日(日・祝) 13時から、建国記念の日「奉祝式典」が開催されます。各ロータリークラブが後援しています。参加される方は、アクトシティ浜松 中ホールへお願いします。
2. 特定非営利活動法人サンクチュアリーエヌピーオーから、アオウミガメの産卵地保護の署名が来ている。賛同される方は署名をお願いします。
3. 能登半島地震の復興支援のための募金を募金箱へお願いします。
4. 2月18日(日)のインターシティミーティングの参加受付を BAND にて行います。

■ 米山奨学生奨学金授与

・会長より李根さんへ奨学金を授与した。李根さんより最近の活動報告等があった。

■ スマイル

①加藤会員ー山本会員のJC祝賀会への参加御礼

②衛藤会員ー新年の挨拶



*** 新年会 会員の親睦を深めた ***



※ビジター1名(米山奨学生:李根さん) ※出席率:81.8%(会場24名+BAND 3名=27名/33名)

